



とん みらい
董 未来 ちゃん (成川)

平成30年2月18日生まれ
楊名さん & 董娜さんの次女

双子の妹、みらいです。きれい好きで片付けも歯みがきもお手のもの！オムツだっってとっくにバイバイ！自分でトイレにいけるよ。頼もしい妹です。パパのことが大好きなふたり。すくすく大きくなあれ♡…お母さんから



とん みよし
董 美好 ちゃん (成川)

平成30年2月18日生まれ
楊名さん & 董娜さんの長女

双子のお姉ちゃんのみよしです。言葉をいっぱい言えるようになったよ。「ありがとう」を自然に言える愛嬌がみんなをあたたくしてくれれます。元気いっぱい大きくなってね♡…お母さんから

【募集】満3歳の誕生日を迎える子ども(平成30年4・5月生まれ)を募集します。ご希望の方は、広報係(☎33-0334)までご連絡ください。申込期限は2月26日(金)まで。



みやもと
としかが
宮本 隼宇 さん (鶴殿・29歳)

地元が大好き！

◆お仕事は？

紀州製紙で勤めて8年目になります。紙を断裁して加工する仕事をしており、数トン、数十トンの紙を扱うので大変ですが、きれいに断裁できたときはうれしいですね。

◆趣味は？

旅行に行くことと温泉に入ることです。今はコロナ禍でなかなか行けませんが、収束すればいろんなところへ行きたいですね。

◆旅行に行くとしたら？

草津に行って温泉を満喫したいです。

◆好きなタイプは？

明るい人がいいですね。

◆新たにやってみたいことは？

最近友だちや職場の後輩など周りがゴルフを始めているので、少し興味があります。

◆町ごとについて

海が近く魚をはじめとした食べ物がおいしいところや自然が豊かで秋には紅葉が楽しめるころなど、都会にない、いいところがたくさんあり、地元が大好きです。同級生もいっぱい住んでいるので、これからもっとこの地域がにぎわってほしいと思います。

離れていても

小西 大亮さん(成川)



2019年12月、職場の研修で多くの方々と紀宝町を訪ねました。当時は、紀宝町を離れて生活をしていましたが、目的は熊野川河口での製紙業、紀宝町の防災への取り組みを学ぶためでした。製紙工場では、世界中から取り

寄せた木材チップを利用し、有名商品のパッケージを作るなど、多種類の製品を製造している工程を見学させていただき、多くのことを学ばせていただきました。大量の水を使うことから、製紙工場の多くは、大きな河川の河

PROFILE

こにし だいすけ さん

5年ぶりに地元に戻ってこられた小西さん。「別の地に住むことで、地元の自然のありがたさに気づけました」と話していました。



「滝の音を聞くとリラックスできます」と小西さんが話す飛雪の滝

口に立地しているということも再認識しました。防災への取り組みでは、実際に避難タワーへ上がり、説明を受け、タイムラインの取り組みなども紹介いただきました。防災に関しては同席していた方々が、大変注目していたことを今でも覚えていますが、同席した方々のほとんどが、自然災害を経験したことがなく、防災について、今後のことを考えている最中だったから、より注目されたのだと思います。

研修を実施するにあたり、防災のことを学びたいとリクエストを受け、真っ先に出身である紀宝町の取り組みを思いつきました。紀宝町の防災への取り組みについて、参考になる、知ってもらいたいという想いから研修会場として決め、参加された方々からの反響もよく、実施してよかったと感じました。

ほかに、飛雪の滝キャンプ場を利用したことのある家族にお会いしたときに、キャンプ場の感想を聞くと、「初めて行ったけど、もう一度行きたいー滝が目の前にあって、すぐに泳げるし最高！」「滝があるキャンプ場は初めて！」「私はうれしくなり、すぐに、「紀宝町は出身地です」と答え、楽しくお話させていただきました。

現在は5年ぶりに紀宝町で生活していますが、地元を離れることで離れていても、「離れていないもの」があると気づかれました。それが、紀宝町の魅力であり、これからも残り、少しずつでもよりよい方向に進んでいくお手伝いできればと思っています。

3月号は成川の藤田輝さんです。小西さんからは、「いつもありがとう」ございます。これからもよろしく願っています。」